指定管理者制度導入施設　管理運営状況（令和6年度）

基本情報

施設名称（愛称）	びわこ地球市民の森				
HPアドレス	https://www.moridukuri.info/		（建物外観等）		
電話番号	077-585-6333		←森づくりセンター		
所在地	守山市水保町2727		遊具→		
設置目的	旧野洲川の跡地を、マザーレイク21計画に基づき、長い年月をかけ世代を超えて、さまざまな生きものが暮らす「豊かな森」を再生すると同時にビオトープとして生態系の復元を目指し、訪れる人たちが自由に楽しめることを目的として設置。				
所 管	部局	土木交通部			
	課等	都市計画課			
設置年月		平成14年7月			
土 地	敷地面積	42.5ha	避難所指定等		—
	市街化区域	市街化調整区域	防災拠点指定等		—
	用途地域	-	文化財指定		—
建 物	延床面積	716㎡	再生エネルギー等		—
	取得価額	2,590,768,000円	自家発電設備		—
運 営	運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	無
	運営時間	8:30～17:15		多目的トイレ	有
	休館日	（月）、年末年始		オストメイト対応トイレ	有
駐車台数		330台		車いす使用者用駐車場	13台

特記事項
　指定管理者：みらいもりやま21ビオトープ協議会

施設概要

名 称	主体構造	設置年	延床面積	階 数	耐 震	備 考
旧森づくりセンター	木造	H12.4	137.90㎡	1		
森づくりセンター	木造	H25.5	578.10㎡	1	新耐震	

指定管理者管理運営状況 （令和3年度～令和6年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R6年度	みらいもりやま21ビオトープ協議会	令和4年4月1日から令和24年3月31日まで
R5年度		
R4年度		
R3年度	シダックス大新東ヒューマンサービス（株）	平成31年4月1日から令和4年3月31日まで

成果情報	R3	R4	R5	R6	備考
利用可能日数（単位：日）	365	365	365	365	
年間利用人数（単位：人）	241,664	260,224	340,832	393,808	
1日あたり利用人数（単位：人/日）	662.1	712.9	933.8	1,078.9	
年間収入（単位：円）	66,203,500	67,434,400	67,434,400	67,434,400	
1日あたり収入（単位：円/日）	181,379	184,752	184,752	184,752	

収入・支出実績（単位：円）	R3	R4	R5	R6	備考
収入①	66,203,500	67,434,400	67,434,400	67,434,400	
施設利用収入	0	0	0	0	
指定管理料	66,203,500	67,434,400	67,434,400	67,434,400	
その他収入	0	0	0	0	
支出②	66,203,500	64,633,046	65,031,239	63,886,370	
人件費	22,075,306	22,076,349	21,242,127	20,215,621	
施設管理費	36,636,296	30,795,779	33,681,570	36,466,516	
事業費	7,491,898	11,760,918	10,107,542	7,204,233	「森のつどい2024」雨天取りやめ
収支　①-②	0	2,801,354	2,403,161	3,548,030	

モニタリング実施状況（令和6年度）

報告書の別	内　容
年度報告	年次事業報告書（令和7年4月報告）
月例報告	月例業務報告書（毎月報告）
実施調査	四半期ごとに実施（年4回）
実地調査等の概要	【令和6年6月】 指定管理者モニタリングマニュアルに基づき、実地調査を実施 【令和6年8月】 令和6年6月と同様に実地調査を実施 【令和6年12月】 令和6年6月と同様に実地調査を実施 【令和7年6月】 令和6年6月と同様に実地調査を実施 【その他】 年次事業報告書、月例業務報告書により、管理業務が適正に実施されていることを確認した。

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	利用者満足度調査を来園者に実施
実施内容	来園者へのアンケート調査（ロビーカウンターに配置し記入を勧めている）
調査結果	・アンケート調査の結果、利用者は概ね満足しているデータとなった。 【アンケートの主な声】 ・自然に触れて、いろんな体験が楽しめる。 ・孫と来ましたが、こんないい場所があることを初めて知りました。 ・駐車場が少ない。　　など

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・大型遊具で遊びに来たお客様に、緑地・森の方へ足を運んでもらうためにキャラクター探しやクイズラリー形式の仕掛けを作り、まわってきたら間伐材で作ったお土産を用意。レンタサイクルと組み合わせてお勧めしていて、森へ入るお客様が増えた。
・自主事業において、森づくりでの間伐材を加工してクラフトの材料をつくり、来園者に、ロビーでクラフト体験をとおして森づくりとの関わり、自然との繋がりを感じてもらう。
・サポーター活動やボランティア活動により、県民の皆さんと一緒に森づくり活動を推進した。